

東アジア研究科・アジア比較文化コースに所属しております于嘯と申します。私の専門は文化人類学で、主に中国漢民族社会におけるホラー表象である「紅衣悪霊」を対象とし、その背後にある民間信仰、社会秩序および文化体系などを研究しております。一般的に、中国では「悪霊」というものは「迷信」として考えられておりますが、「紅衣悪霊」と関わるホラー映画、志怪小説、お化け屋敷を丁寧に調べていきますと、その背景に漢民族の伝統的な民間禁忌、父権的イデオロギー、慣習的な行為が垣間見られるなど、文化的な要素が多岐にわたってみられることがわかってきます。

こうした複合的な研究主題を詳細に分析していくことで、中国漢民族の文化や社会の実態を明らかにしていきたいと考え、東アジア研究科・アジア比較文化コースに進学いたしました。現在博士課程の1年ですが、私は本研究科の「特別講義」と「基盤演習」の授業を通して、指導教員からきめ細かい研究指導を受けることにより、自分の研究に必要な知識・技能を、ひとつずつ丁寧に積み重ねている状況にあります。また隣接する研究分野の複数の先生方から、研究テーマに関する学術的議論、多角的視点からの助言をいただくことで、問題を複眼的に捉えられるようになり、広い視野の下で自分の研究の方向を位置づけることができるようになりました。東アジア研究科で研究活動を行うことで、自分の研究課題をさらにも深化させ、研究分野をまたいだ議論が展開できるよう、日々努めております。

東アジア研究科 1年 于嘯

